

# 日特建設の アンカーリフトオフ試験管理システム

## 「Licos」

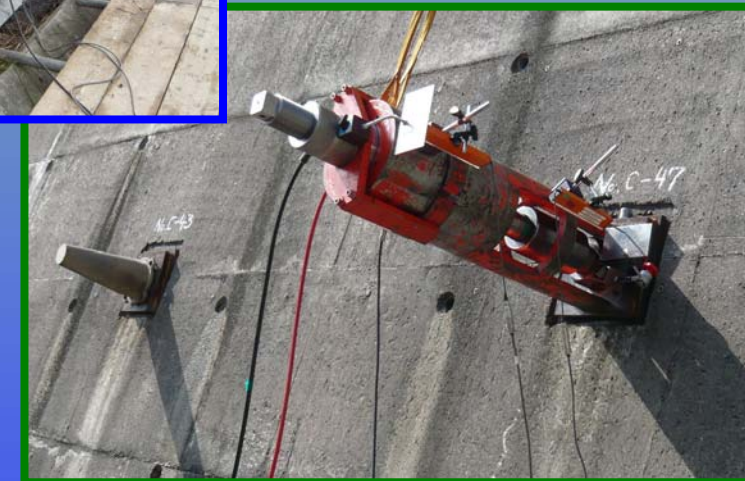
( Lift-off test control system )

アンカーのリフトオフ試験を  
**安全に**

**正確に**

**スムーズに**

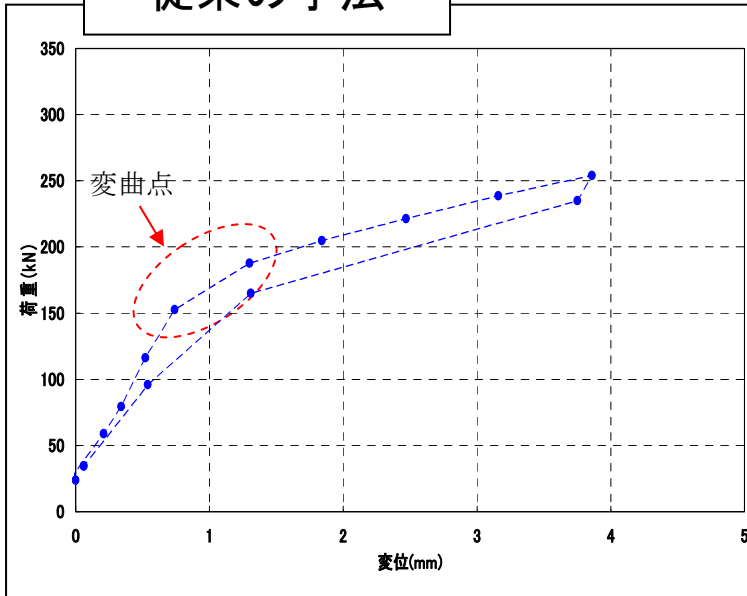
**実施するシステムです。**



(実用新案登録出願中)

**NITTOC**

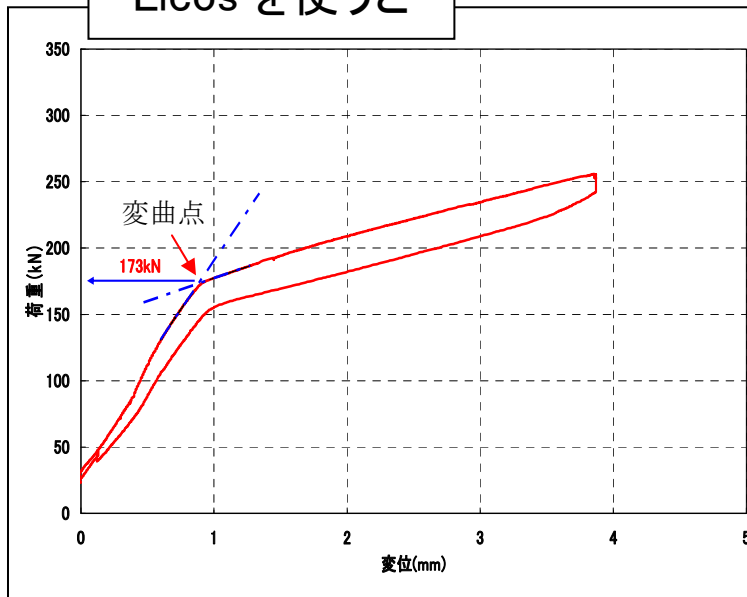
### 従来の手法



#### (従来法の欠点)

- 荷重毎に変位量と荷重のデータを読み取るため、変曲点の精度が粗い。
- 荷重-変位量曲線のモニタリングができない。
- 載荷スピードの制御が難しい。

### Licos を使うと



#### (Licos の利点)

- データ取得頻度を細かく設定できるため、変曲点を高い精度で判別できる。
- リアルタイムで荷重-変位量曲線のモニタリングができる。
- 任意の載荷スピードを自動で制御する。

「Licos」に関するお問合せは

日特建設株式会社 技術本部

〒104-0044 東京都中央区明石町 13-18

TEL 03-3542-9110 FAX 03-3542-2081

**NITTOC**

# 「Licos」の特徴

## 1. 設定した荷重速度及び除荷速度を自動制御

「任意に設定した荷重速度と除荷速度を自動で制御できるため、ジャッキ操作がスムーズで、安全にリフトオフ試験が実施できる。」

通常、ジャッキの荷重・除荷速度の制御は、油圧ユニットのバルブ開閉量を手動で調整して行うため、制御が非常に難しく、スムーズな制御が困難です。  
この装置は、ジャッキの荷重・除荷速度をスムーズに自動制御できることから、既設アンカーに対して急激な荷重変化(荷重及び除荷)を与えずに安全にリフトオフ試験を実施できます。

## 2. タッチパネルによるジャッキの遠隔操作

「タッチパネルのボタン操作でジャッキの動き(昇圧・降圧・保持)を簡単・確実に操作できる。」

通常、ジャッキの操作は、油圧ユニットの油圧切替え弁とバルブの開閉を操作によって行われますが、すべての操作をタッチパネルのボタンのみで操作できるため、ジャッキの操作を簡単・確実に行えます。

## 3. 荷重-変位置量曲線をリアルタイムで表示

「ジャッキ荷重及びアンカー頭部の変位置量をリアルタイムでモニタリングし、荷重-変位置量曲線を表示する。」

リアルタイムで荷重-変位置量曲線を表示できるため、アンカー鋼線の状態(載荷重と伸び)を監視しながらリフトオフの有無を視覚的に判断できます。また、表示されている荷重-変位置量曲線の変曲点から、現場で、リフトオフ荷重の概略値も評価できます。

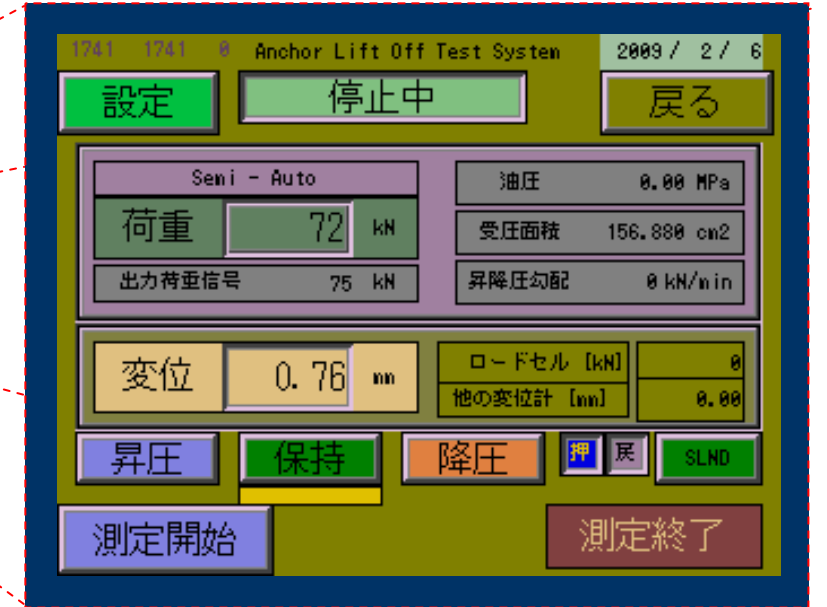
## 4. ジャッキ荷重、アンカー頭部変位置量のデータを自動で取得・保存

「0.5~5 秒間隔で荷重及び変位置量データを取得することから、リフトオフ荷重をより正確に把握できる。」

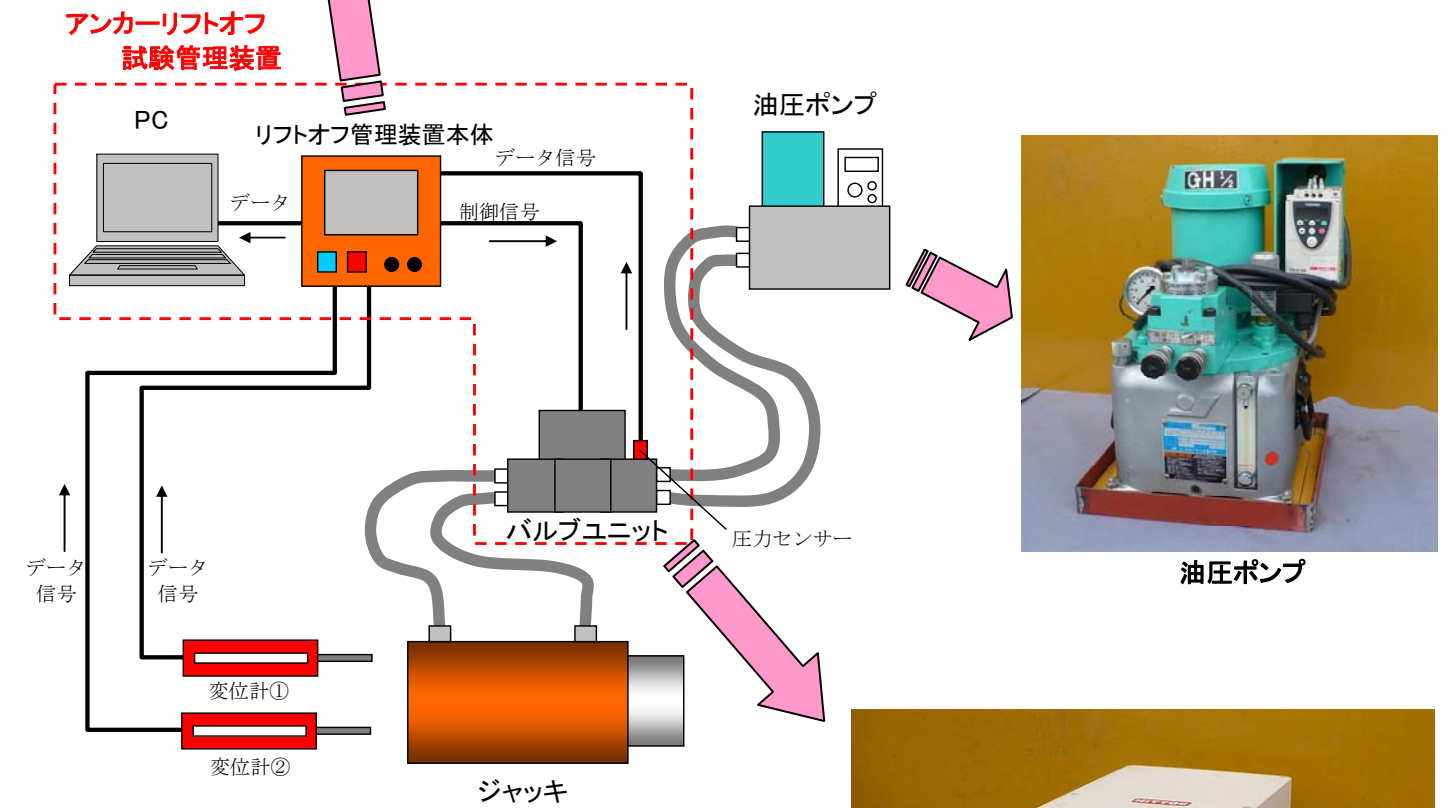
通常、リフトオフ試験は、任意の荷重間隔(ex.20kN毎)で変位置量のデータを、その都度、取得しながら実施されますが、この装置は、データの取得・保存間隔を 0.5~5 秒まで任意に設定でき、データの取得頻度が高いため、リフトオフ荷重をより正確に判定できます。また、データは、試験終了(または中断)とともに日付・時間ファイルとして自動的に保存されるため、データの取り忘れがありません。



リフトオフ管理装置本体



操作画面



油圧ポンプ



油圧ポンプ    バルブユニット    リフトオフ管理装置本体    PC



バルブユニット